

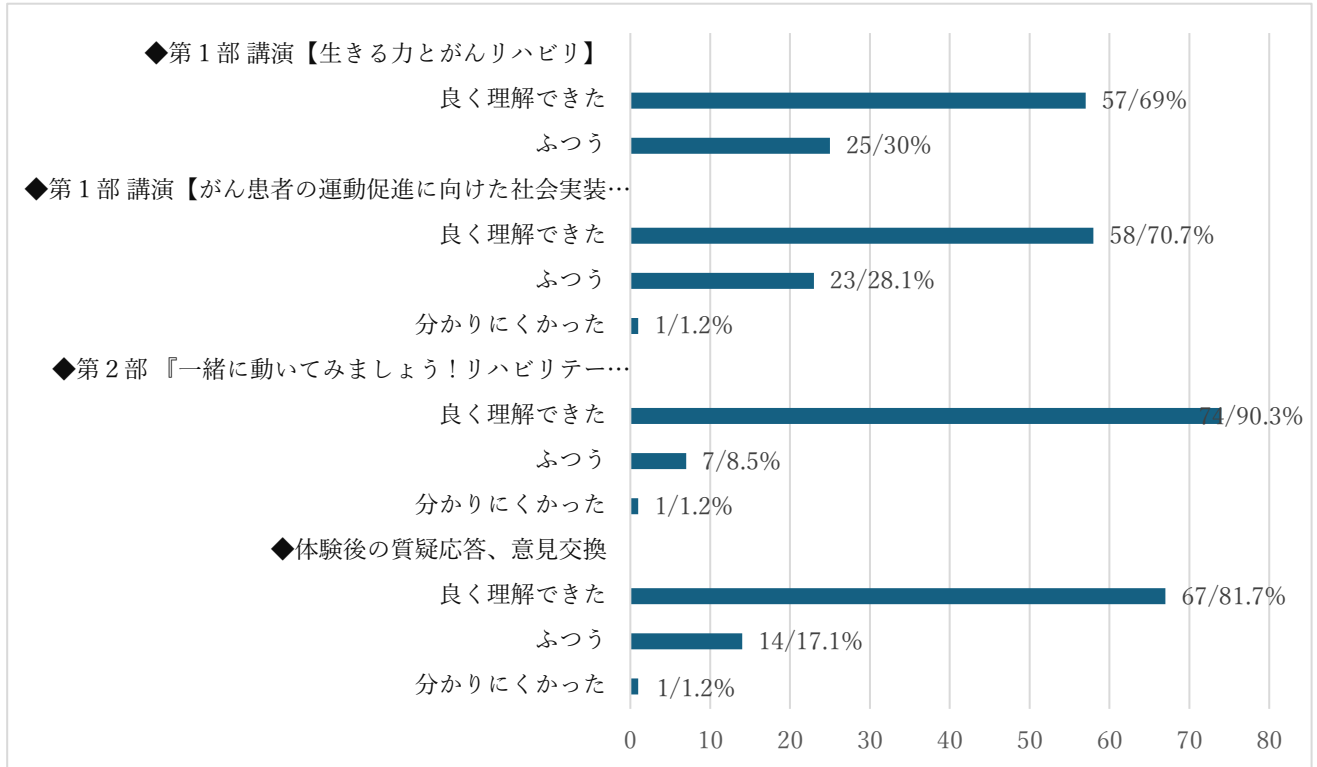
2024年8月4日(日)第2回リハビリテーション公開講座

「あなたを支えるがんリハビリ ～一緒に動いてみましょう！～」参加者アンケート集計結果

参加者/202名

回答者/82名

回答率/41%



第2部 『一緒に動いてみましょう！リハビリテーション患者体験』のご感想をお聞かせください。

1. 内容に対するポジティブな評価

- **運動体験:** リアルタイムで一緒に体を動かす体験が良かった。インナーマッスルを鍛える動作や、お尻を上げる動作が効果的であったと評価された。
- **リハビリ内容:** 具体的な運動や患者さんの実際のリハビリテーションの様子が理解しやすかった。患者さんの体験談が参考になり、リハビリの重要性を再認識した。
- **家族への配慮:** 家族も患者と共にリハビリに取り組む姿勢が良いと評価。家事動作もリハビリになることに希望を感じた。
- **指導の質:** 指導が分かりやすく、取り組みやすい内容だった。丁寧な指導が良かったと評価された。

2. 内容に対する改善点の指摘

- **時間配分:** 参加者が一緒に運動する時間が短すぎた。もっと時間を割いて欲しかったという意見が多かった。
- **タイトルと内容の一致:** タイトルから一般的なリハビリ内容を期待していたが、実際の内容と一致しなかったと感じた。タイトルに改善の余地があるという指摘があった。
- **参加形式:** 画面越しでの参加よりも、リアルな体験の方がより良かったという意見が見られた。

3. リハビリ内容への関心と期待

- **具体的な運動:** 横になってできるリハビリや、がんの種類や状態に配慮した内容が参考になった。自分や家族に適した運動が紹介され、取り組みやすいと感じた。
- **患者の実体験:** 患者さんの努力や精神力に感銘を受け、前向きに生きようという意欲が湧いたとの感想が多かった。

4. その他の意見

- **技術的な改善:** マイクの音質や使用方法に関する指摘があり、音声聞き取りにくい場面があったため改善が求められた。
- **個別の対応:** 自分の身体状況に合ったリハビリ内容の判断が難しいと感じた参加者がいた。適切な指導が求められている。

これらの要約を通じて、第2部のリハビリ体験は全体的にポジティブな評価を受けつつも、改善点として時間配分やタイトル、参加形式などが挙げられました。

体験後の質疑応答や、講師を交えた参加者の意見交換のご感想をお聞かせください。

1. 内容に対するポジティブな評価

- **有意義で分かりやすい:** 質疑応答や意見交換が有意義で、新たな発見があったとの評価が多かった。参加者の意見が尊重され、進行がスムーズであったことも好評。
- **共感と勇気:** 事前アンケートの自由記述を通じて、他の参加者の悩みに共感し、「自分だけではない」と勇気を得た。これが前向きな気持ちに繋がったという感想が多かった。
- **リハビリの重要性:** リハビリの必要性や重要性が再確認された。具体的な質問に対する講師の回答が的確で、理解が深まった。
- **一体感:** 参加者同士や講師との一体感が感じられた。みんなが同じ気持ちで前向きに取り組んでいることが共有でき、心が軽くなったと感じた参加者が多かった。

2. 内容に対する改善点の指摘

- **音声の問題:** マイクの音質や使用方法に改善の余地があるという指摘があった。聞き取りにくい場面があったため、音声の調整が必要とされた。
- **時間不足:** 質疑応答や意見交換の時間が短かったと感じた参加者が多かった。もっと時間を割いて欲しかったという意見が見られた。
- **進行内容の改善:** リハビリに関する一般的な話だけでは、参加者の個別の状況に合わない部分があったと感じた。個々の状況に応じた対応が求められている。

3. 参加者の感想や期待

- **参考になる情報:** 事前アンケートの内容に基づいた質疑応答や意見交換が参考になった。実際に患者さんの声を聞きながら、講師の話をリアルに感じる事ができた。
- **リハビリへの意欲:** リハビリを楽しみながら取り組むことの重要性を感じた参加者が多く、これからも続けたいという意欲が高まった。
- **次回への期待:** 次回の講座で、今回の参加者がどのようにリハビリに取り組み、どんな成果があったかを聞かせて欲しいという要望があった。

4. その他の意見

- 進行の評価: MC や進行役のスムーズな進行が高く評価された。特に進行が「水が流れるよう」であったという具体的な評価があった。
- 医療者と患者会のチームワーク: 医療者、患者会、行政などのチームワークが良く、参加者同士の協力が感じられる場であったことが評価された。

これらの要約から、質疑応答や意見交換は全体的にポジティブな評価を受けつつも、音声の問題や時間不足といった改善点が挙げられました。また、リハビリへの取り組みや意欲が高まり、次回への期待が寄せられています。

今後、NPO 法人がんと共に生きる会の公開講座や勉強会で取上げてほしい内容、その他ご希望やお気づきの点があれば、ご記入ください。

1. 今後取り上げてほしいテーマ

- **リハビリに関する具体的な内容:**
 - 患者の状況に応じた運動の具体例や、日常生活での過ごし方（運動や食生活）に関する詳細な情報提供。
 - リハビリの費用面や公的支援、がん保険がリハビリの対象になる可能性について。
 - 前立腺がんや卵巣がんのリハビリ、難治性がんの治療と支援に関する情報。
- **メンタルケアと精神面の支援:**
 - 「がん哲学外来」の取り組みを紹介し、患者や家族のメンタルケアに関するアドバイス。
 - 闘病中の心の保ち方や、ストレス管理に関する内容。
- **職場復帰や生活支援:**
 - 仕事をしながらの闘病に関する事例、課題、解決策。
 - 職場での身体管理（デスクワークや重いものを持つ際の注意点）に関する情報。
- **患者支援と最新の医療情報:**
 - 高齢や独居のがん患者に対する医療やサービス。
 - 最新のがん治療や予防法についての情報提供。

2. 講座の改善点と希望

- **オンライン開催の継続:**
 - 居住地や体調に関係なく参加できるオンラインやオンデマンドでの開催を希望。これにより、広範な情報提供が可能になると期待。
- **双方向性の強化:**
 - 実際の Zoom 参加者がオンライン上で運動を実施できる機会を増やし、リアルタイムでの双方向のやり取りを希望。
- **音声設備の改善:**
 - 会場のマイクの音質が良くなかったため、今回は別の機器の使用を検討してほしい。音質の向上は特に重要で、演奏者にも失礼がないよう配慮を求める意見があった。
- **アーカイブと継続的な情報提供:**
 - セミナー内容をアーカイブしてウェブサイトアップし、患者や家族に広く伝えるこ

とを希望。過去の登場者のその後の状況も継続的に知らせてほしいという要望もあった。

3. その他の提案や意見

- **患者同士の交流:**
 - 患者同士が直接話し合える場を設けてほしいという要望があった。これは、互いに励まし合いながらリハビリに取り組む場として有効。
- **コミュニケーションの改善:**
 - 医療者と患者が円滑にコミュニケーションを取るための模擬カウンセリングの実施を提案。

これらの意見を基に、今後の講座や勉強会において取り上げるべきテーマや改善点が明確になりました。特に、リハビリやメンタルケア、職場復帰支援に関する内容が求められており、オンライン開催の継続や音声設備の改善も重要なポイントとして挙げられています。

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

今後の公開講座や勉強会の開催時に、大いに参考にさせていただきます。

NPO 法人がんと共に生きる会